

# 嵯峨山ハイキング 山行報告書

【山城】房総半島

【ルート】嵯峨山ハイキング

【日程と天気】2019年1月12日(土) 曇りのち雨

【メンバー】CL 田中 (追記)、小俣、小川 (記録)

【行程】

田中宅 7:00→嵯峨山登山口駐車場 8:15→嵯峨山山頂 (315.2m) →釜の台にて休憩 9:45→嵯峨山登山口駐車場 10:30→道の駅 保田小学校→田中宅

【内容】

2019年1月5日の谷沢水仙郷-嵯峨山ハイキング時に不明瞭だった登山道にて、誤って進まないよう倒木等を使った仕切り作業含めてハイキングをしました。



※嵯峨山登山口駐車場にて

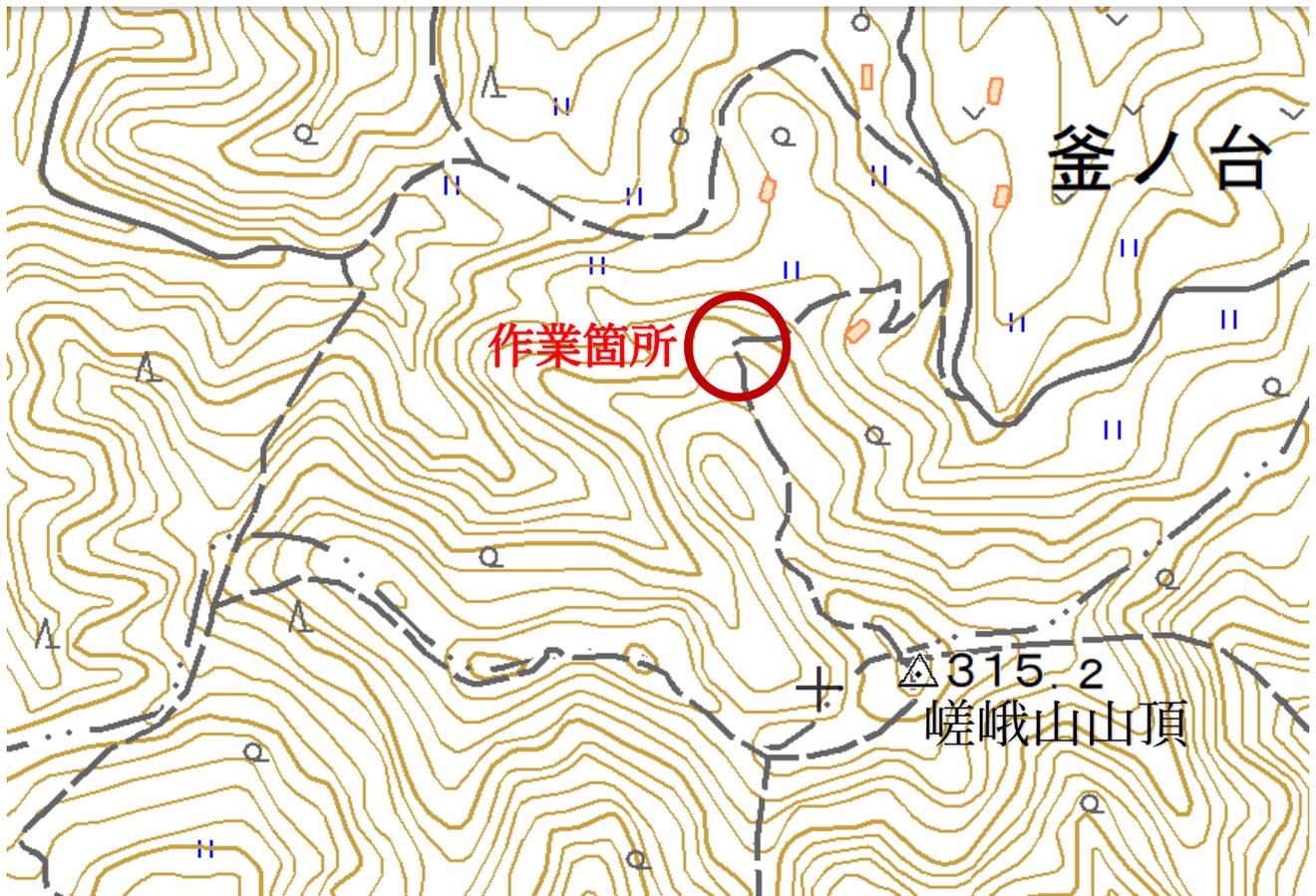


※丸太の橋で沢を渡ります

駐車場から歩き始めて程なくすると小雨が降り始め、レインウェアを着用し嵯峨山山頂を目指します。嵯峨山 315.2m 山頂到着。ここまでは小雨が降ったりやんだり、樹林帯の中ではほとんど濡れるようなことはありませんでした。さて、これから今回、枯れ木による仕切り作業を行う“例の箇所”に

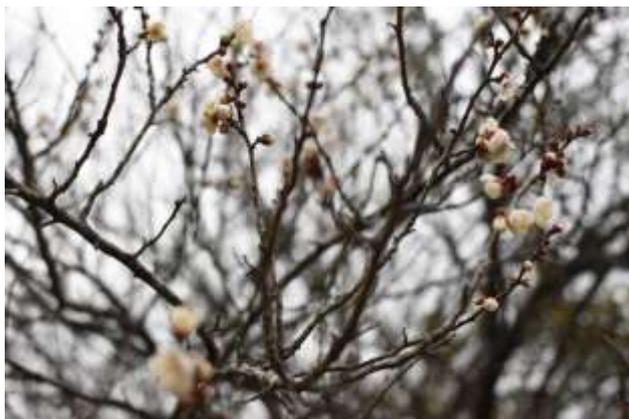


むかいます。



前回の山行で引き返すこととなった箇所ので図と現場の写真です。

尾根伝いに踏み跡がしっかりと付いており、そのまま進んでしまうとこの先は急斜面で、登山道から大きく外れてしまいます。ここでは写真右側の斜面を下るの正しい登山道です。写真のように倒木を立て掛ける作業をおこないました。登山者がこの場所で一度踏みとどまり、地図を確認したり周囲のピンクテープ・赤布などの目印を探すべきっかけになれば幸いです。



※休憩した釜の台では梅の花が咲いていました



上記のような不明瞭な箇所が他にもあり、同様の作業が一通り終わるころにはやや大粒の雨が。濡れた地面と濡れた枯れ葉で大変滑りやすく慎重に下山します。



早出早着の山行で雨に降られた時間も少なく、無事に登山口駐車場に到着。この後、道の駅 保田小学校で休憩・買い物を済ませ帰路につきました。

(山行報告)：田中追記

1週間前の5日に同ルートで嵯峨山に久々に登ったが、私の記憶よりも嵯峨山ルートが荒れていて、踏み跡も不明瞭で尾根上の急な方向に進む踏み跡が有り、又は以前は綺麗に咲いていた水仙畑も萱トに覆われ、廃屋となった集落の敷地に通じる様に踏み跡が見られ、荒れ方が著しく悲しく心に残った。私には遣れることは僅かで有るが、もう一度登って少しでも良い方向に直せば良いかなと考え再入山を決めた。

されど、この山域は個人所有地や地元市町村管理下にある場所で、一個人の判断で立て札やロープ張り（危険個所のロープ固定も含め）などをするには、行きすぎ（遣りすぎ）の行為と考えて、今回は現地に有る枯れ木など使い、前に進んでは危険と思える所などに侵入しないように簡単な仕切りを作って、迷い防止対策のみ行ってきた。

本来なら地権者や地元市町村管理元に許可を得て大々的に出来れば最も良い方法であるが、急に思いついて、実行するには時間も無く、それだけのパワーも無く、自然のまま遣れる範囲で可能な方法で行うことを選んだ。

※補足（地権者は各地に所在する法務局や役所資産税課で調べることが出来るとの情報である。）

また、今回改めて入山すると前は気付かなかった（気づこうとしなかった）地権者の立看板に水仙畑や敷地内への立入り禁止など書いた看板がたくさん、目に入った。

ともあれ我々登山者の立場でも勝手に踏み込み、間違った道を作って、荒らすことをしない様に、心したいと、新たな思いとなる山行であった。